

一次研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	皮膚がん		
	タイプ	医学情報		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgical margins for excision of primary cutaneous squamous cell carcinoma		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）		
	ガイドライン上での目次名称	SCCCQ3-1, WEB-CQ3-1		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ IV ）		
	Pubmed ID	1430364		
	医中誌 ID			
	雑誌名	J Am Acad Dermatol		
	雑誌 ID			
	巻	27		
	号			
	ページ	241-248		
	ISSN ナンバー			
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）		
	発行年月			
	著者情報		氏名	所属機関
		筆頭著者	Brodland DG	Mayo Clinic
その他著者 1		Zitelli JA	Mayo Clinic	
その他著者 2				
その他著者 3				
その他著者 4				
その他著者 5				
その他著者 6				
その他著者 7				
その他著者 8				
その他著者 9				
その他著者 10				

一次研究の 8 項目	目的	原発性皮膚扁平上皮癌の最適な切除マージンのガイドラインを作成する	
	研究デザイン	研究デザイン：コホート研究	
	セッティング	対象：原発性，浸潤性の SCC 1 1 1 例, 1 4 1 個	
	対象者		
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 2 2 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	腫瘍消失率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	マージン 4mm での腫瘍消失率は 96%，6mm では 99%。腫瘍のサイズ別では，最大径 1cm 未満ではマージン 4mm で 100%，最大径 1cm 以上 2cm 未満ではマージン 4mm で 95%，6mm で 100%，最大径 2cm 以上ではマージン 4mm で 86%，6mm で 97%の消失率であった。組織学的分化度別に見ると，grade 1 ではマージン 4mm で 97%，6mm で 100%，grade2 ではマージン 4mm で 93%，6mm で 97%，grade3 以上ではマージン 4mm で 80%，6mm で 100%の消失率であった。部位別に見ると，ハイリスク領域（頭皮・耳・眼瞼・鼻・口唇）では，マージン 4mm で 91%，6mm で 98%，それ以外の領域ではマージン 4mm で 98%，6mm で 100%の消失率であった。皮下までの浸潤のあるなしで見ると，皮下浸潤のないものはマージン 4mm で 98%，6mm で 100%，皮下浸潤のあるものはマージン 4mm で 90%，6mm で 98%の消失率であった。大部分の SCC では 4mm の切除マージンが適切であった。しかし，2cm 以上のもの，grade2 以上の組織学的分化度，皮下への浸潤，高リスク領域に発生したものは，腫瘍の進展範囲が広い危険が高かった。	

	結論	以上の結果から，著者らは，SCC の切除マージンは最低限 4mm 必要である，ただし径 2cm 以上のもの，組織学的分化度が grade2 以上のもの，ハイリスク領域（頭部・耳・眼瞼・鼻・口唇）のもの，皮下への浸潤のあるものには 6mm のマージンが必要である，と結論づけている。ただし，以上は再発性の SCC には当てはまらない，とされている。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	梅林芳弘 山崎直也
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 各国のガイドラインで SCC の切除マージンを設定する際に援用されている唯一にして最も重要な論文である。